



つぐみちゃんグラチャンV2!

第9回グランドチャンピオン戦は1月8日(日)板橋平和公園で行われ、つぐみちゃんがマサヤとの決勝戦を3対1で快勝し、第7回に加えて2度目のチャンピオンとなった。これで夢宙人田口、ミスター高橋と並び、永世グランドチャンピオンにリーチがかかった。

決勝3本勝負はトップハンディのマサヤとNo.2 つぐみという顔合わせとなり、まさにチャンピオン戦にふさわしい対戦になった。マサヤは決勝リーグトップのはるみと先月優勝のルパン師岡を倒し、一方つぐみは、実力者六角デビルと中Gを下しての勝ち上がりだ。実力伯仲のふたりだが、ともに1本決めたあとの3本目、マサヤが痛恨の床はずしでリードされたのが痛かった。ギリギリの戦いだけに致し方ないところだが、これで余裕となったつぐみちゃんが、ダーリンのささやきよろしく3本目を決め、2011年グランドチャンピオンとなった。

決勝リーグトップははるみちゃんだ

立川三姉妹の一角はるみちゃんが決勝リーグをトップ通過し、その実力を遺憾なく発揮した。ハンディ14のはるみは余裕で予選を通過し、

決勝リーグでつぐみ、タツヤ、スペイン後藤、マッチ、ヨッシーを弾き飛ばし堂々のトップだ。しかし、“トップ通過に優勝なし”のジंकウスがはるみちゃんにも襲い、マサヤに一步届かず涙を呑んだ。

なでしこNIBの時代がやって来たのか

決勝トーナメント8名の顔ぶれをみると、女流3人(はるみ、つぐみ、ミセス)、子ども2人(げんた、マサヤ)、おとな3人(ルパン、中G、デビル)となる。均衡が取れていいように感じるが、実は決勝リーグトップ3ははるみ、つぐみ、ミセスなのだ。また、今回のハンディでもトップのマサヤを除くと、この3人がズラリと並ぶ。この現実をどう思うか。マサヤ一人が男のメンツを保っているが、やれ『オヤジの部を作れ』だの、『シニアの部を作れ』だのと、やいのやいのかまびすしいが、昭和を代表する男たちはそれで満足なのか。それとも、このチャンピオン戦に出る気概を失ったのか。次回は第十一期ベー王戦だ。夢宙人田口とハルクに永世ベー王の称号がかかっている。がんばれ昭和の男たち。



つぐみちゃん、マサヤ おめでとう!



子ども王はマサヤ、女流王はつぐみちゃん

第9回グランドチャンピオン戦の子ども王はマサヤだ。昨年、NIB王戦と異種格闘技戦を制した実力は、伊達ではなかった。子どもがグラチャンを制したのは第4回大会のワッチャンしかない。ワッチャンも一時代を築いたが、それに匹敵するのがマサヤだろう。そのワッチャンも第3回に子ども王を取り、翌年チャンピオンとなっている。次回のマサヤに期待しよう。また、女流王はつぐみちゃんだ。第7回から3年連続表彰されている。まさにグラチャンの顔だ。このまま一気に永世グラチャンとなってしまうのか。末恐ろしい限りだ。

ガチホンコはとーさん、イッサはまた惜敗

恒例となったガチホンコ戦は、好評につき毎回参加者が増え、実に35人の戦いとなった。一発勝負の醍醐味を満喫できるのがガチホンコ戦。今回の決勝はとーさん成田 vs イッサ望月だ。勝てば3回目の全部取りとなるととーさんに対し、イッサは言わずと知れた初優勝がかかる。声援は当然イッサに傾くが、またしてもイッサは人の良さがでてしまい(別にとーさんは人が悪いということではない)、詰め切れずに無念の敗退だ。覆面姿が怪しいとーさん、正月からエンジン全開だ。

来年よりグラチャンが衣替えします

これまで予選から全員参加で開催してきたグランドチャンピオン戦は、来年よりチャンピオンだけの真の年間チャンピオン戦になる予定です。グラチャンを含め各月例会の総合チャンピオン(チーム王戦とペアマッチ戦は除く)11~12名によるトーナメント戦を、午前中に開催します(午後は全員参加の大会を開催予定)。新グランドチャンピオン戦に、乞うご期待ください。

第十二期名人戦を受付中

第十二期名人戦の受付を開始しました。予選は2月・5月・7月・8月・9月・10月の6回で行い、11月に決勝巴戦を迎えます。今回も決勝シード権者は第十一期名人のアキヒロ。このアキヒロを倒すことができるか。現在の登録者数は32名です。2月まで受付いたしますので、どうぞご参加ください。

